



特認校 富沢小と家庭・地域をつなぐ学校だより

旭川市立富沢小学校 No. 5 平成26年7月24日 発行

みらい

学校教育目標
夢をもち未来を拓く子ども

【目指す児童の姿】
かしこい子 (知)
あかるい子 (徳)
ねばりづよい子 (徳)
たくましい子 (体)

【実践の合い言葉】
きたえ ふれあう 富沢っ子

夏休みこそ 体験学習の場

富沢小学校長 松原 博子

先日ふと目にした記事に、「今後、小学校に入学する子どもの 65 %は、将来、〈現在まだ存在していない職業〉に就くだろう」と書かれていました。どのような職業なのかすら想像できませんが、自分が小学生の時代には無かった職業に囲まれている現代を見回せば、それもしごく納得できることです。

そうであるならば、子どもに施される教育（学校・社会・家庭）は、そのような時代に生きる子どもが身につけなければならない資質・能力を見通して行われなければなりません。

しかし、新しい物に翻弄されることなく、いつの時代にあっても、人として生きていく上で失われてはいけな普遍的「教育」も大事にしていかなければなりません。

教科の課題の中に、「事象に関心をもつこと、多面的に考察すること、公正に判断することで、見方・考え方を成長させる」とあります。その背景には、今の子どもたちの自分に関係のない事に対しての関心の低さが見て取れます。

平成 10 年頃から、総合的な学習の時間が導入され、学校の授業では「体験学習」「問題解決的な学習」が重視されるようになってきました。自分から事象に積極的にに関わり、そこから得られた複数の視点や立場から、「見て」「考えて」「分かる」という学び方です。富沢の教育は、このような学び方を大事にして授業作りをしています。

その中でも、本校の体験活動を重視した「ふるさと学習」は、地域の仕事、自然、人々との関わり合いを重視した教育活動であり、通信ゲームなどのバーチャル世界に慣れ親しんでいる子どもが、そこで生きる「人々の営み」に触れ、人々の工夫や知恵に共感し、納得できるような体験的な学習だからこそ価値があるのだと考えます。

人とのふれあいでは、まず挨拶を交わし、対話を通して必要な情報を収集したり伝えたりしなければなりません。現在ない職業に就くであろう子どもたちであっても、コミュニケーション能力を育成することは重要な要素であるに違いありません。

「見て」「考えて」「分かる」学びから、事象を複数の視点や立場からとらえられる、新しい時代に生きて働くグローバルな考え方を育てていきたいものです。

7 6 日間の 1 学期も 7 月 2 5 日で終業式を迎えます。明日からの 2 5 日間の夏休みこそ、生活に根ざした体験的な学習の場として、3 7 名の子どもたちが生き生きと実りのあるものにしてくれることを期待しています。

8月の行事予定



生活目標 安全に生活しよう。

保健目標 夏を元気にすごそう。

給食目標 旬の食べ物を知ろう。

日	曜	おもな行事	日	曜	おもな行事
1 9	火	安全で、楽しく、充実した夏休みを過ごしましょう！ 前期学校評価会議	2 5	月	身体測定（低）選挙管理委員会 諸費引落日
2 0	水	2 学期始業式 安全点検日	2 6	火	クラブ
2 1	木	児童会 身体測定（高）	2 7	水	朝会（自由研究発表会）職員会議
2 2	金	ミュージカル鑑賞（5・6年）身体測定（中） 職員会議	2 8	木	選挙管理委員会
			2 9	金	合宿オリエンテーション
			3 0	土	富沢祭り

「上川教育研修センター講座」で複式授業を公開

7 月 1 日に本校を会場に上川教育研修センター講座「複式教育」が開催されました。旭川・東神楽・富良野から 1 0 名ほどの参加がありました。授業を公開してくれたのは豊岡先生（5・6 年生）。国語科における複式授業を公開しました。

学習プリントをもとに、全員が学習の進め方を理解し、学習リーダーを中心として、主体的に学習を進める子どもたちの姿に参加者からの高い評価をいただきました。

学習課題解決に向けて、意見を出し合い、練り合う姿は、まさに 6（5）年間の学習の成果。質の高い授業だったと思います。

これからも全校体制で子どもたちの学びの充実・学力向上のために日々研修に取り組んで参ります。





W-cup公式ボールでサッカーに夢中！

J P 日本郵便から全国の小中学校にサッカー W-cup の公式レプリカボールの寄贈がありました。

記念の品ということでの贈呈ではありますが、大切にボールを保管することよりも有効活用することを優先に考え、富沢小では子どもたちの体力づくりの一環でもある「富沢タイム」サッカーの時間に積極的に使わせていただいております。

このボールのおかげで、子どもたちのサッカー熱がうんと高まったような気がします。





たくさんの生き物との出会い 「夏の富沢」



7 月 3 日、野山活動の第 2 弾、「夏の野山」に出かけました。1・2 年生は今回は川での活動に取り組みました。3 年生以上は春と同じ「花」「虫」「川」の 3 グループ編成で春との違いを観点に植物・虫・水生生物の観察・採集・探究活動を行いました。

今回新たに「虫」グループの講師として旭川科学館サイバルの職員（元理科教師）を招聘しました。

教育効果を高める方法として、専門家の協力を依頼することは、学校の大切な取組の一つでもあります。今後さらに外部講師の活用充実に努めていきたいと思ひます。





専門的な水泳指導に感謝！！

今年の水泳学習ではスイミングスクール校長でもある 5 年生松本さんのお父さんに講師を依頼し、指導の協力をいただきました。

これまで 3 ～ 6 年生は 2 グループに分かれての学習でしたが、おかげで 3 グループ編成が可能となり、泳力に応じたきめ細かな指導の充実を図ることができました。

「息継ぎ」を課題とする子どもたちを指導してもらいましたが、どの子も自分の泳力の向上を実感することができ、その喜びを言葉や表情で表現していました。

先生方にとっても、専門的な指導プログラム・方法などとても参考になりました。

可能であれば、次年度も是非お願いしたいところです。



交通安全教室



11 日に全校児童を対象に、「交通安全教室」を実施しました。

今回は「ダミー実験」を通して車の死角や巻き込み事故の危険性について学習しました。

これから夏休み、交通事故だけでなく様々な事件・事故の危険性が高まる時期です。ご家庭においても十分ご指導願ひます。

